

平成 29 年 7 月 大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 7 月 27 日 (木) 13 時 10 分から 13 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 大泉図書館指定管理者 (株式会社図書館流通センター) (以下「大」)</p> <p>大泉図書館長、同館業務従事者 (2)、本社スタッフ (1)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) インターホンを設置したが運用はどうか。</p> <p>→ (大) 運用マニュアルを作成し、マニュアルに沿った運用を行っている。</p> <p>(光) 会議室および視聴覚室の開放をしていないが、夏休みに入り閲覧席の不足は生じていないか。</p> <p>→ (大) 席は埋まるが、苦情もなく今のところは運用出来ている。夏休みの調べ学習支援事業「図書館を使って調べよう」では会議室を使う予定。</p> <p>→ (光) 夏休みは小中学生の利用も多くある。開放していれば利用する方もいると思うので状況を見て開放を検討して欲しい。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>(光) 6 月開催の「黒南風大泉寄席」について</p> <p>→ (大) 大泉地域を中心に活動している大泉落語研究会を招いて実施している事業で、開始から 6 年目になる。プロではないが、固定ファンや楽しみにされている方が多く、申し込みが始まるとすぐに定員数に達してしまうほどの人気がある。年 4 回、その季節に合った落語を行ってくれている。今年度は、さらに、9 月、12 月、2 月の開催を予定している。</p> <p>→ (光) 参加者は高齢者が多いか。</p> <p>→ (大) もちろん高齢者が多いが、落語は幅広い方に受け入れられるもので、小学生や若い方の参加もある。</p> <p>(光) 6 月開催の「大泉ファーマーズマーケット at 大泉図書館」について</p> <p>→ (大) 昨年に引き続き二回目の実施だが、今年は、場所貸しだけでなく、図書館主催のイベントも実施した。大泉保健相談所の管理栄養士を招いた「ファミリーセミナー野菜とれとれ」では、野菜を美味しく健康的に取るための話をしてもらった。「練馬区の野菜について知ってもらいたい」という主催団体の思いもあり実施したが、図書館二階の会場にまで足を運んでもらうことが難しく参加者は少なかった。</p> <p>ただし、主催団体や保健相談所、都市農業課とのつながりが出来た。地域のつながりの中心に図書館があるということが大切だと思っており、これを足掛かりとして地域の産業である農業について図書館で何が出来るか今後も考えていきたい。</p> <p>→ (光) 「ファーマーズマーケット関連展示」について</p> <p>→ (大) 野菜の見分け方や育て方などの本を集めて展示し、63 冊中 40 冊の貸出があった。また、パスファインダー「もっと知りたい食と農」を作成し、図書館に入らない方にも見</p>

てもらえるよう、野菜を購入した方に同封し 300 部を配布した。その時は野菜を買うことが目的でも、後でパスファインダーを見てもらい、読書につながればと思う。

(光) 6 月開催の「ねりまで本をつくる、本をつなぐ～練馬区出版社展示会～」について
→ (大) 出版社紹介のパネルや見本書籍の展示を通して、区内にもたくさんの出版社があることを多くの方に知ってもらえた。参加された方は、大泉にも出版社があること、これだけの数の出版社が区内にあることに驚いていた。ギャラリートークでは、雑誌「旅行人」の発行者をお招きし、創刊の経緯や、出版物について話していただいた。ファンの方が多く、話も面白くてとても好評だった。「出版」を通して、「本」や図書館の蔵書に興味を持ってもらうきっかけになったらと思う。

③ 児童サービス事業について

(光) 「本友 (ブックフレンズ) 委員会」の活動について

→ (大) 新しいメンバーへの図書館案内、夏に行う本友委員会主催イベントの話し合い、読書会などを行った。また、5 月に実施した「アニメプロジェクト in 大泉 2017」とも連携し、「私の好きなアニメ新聞!!」を作成し展示した。

(光) 5 月に実施したアニメイベントの講師はどのように見つけたのか。

→ (大) スタッフの人脈から講師に声をかけた。最初は一般向けの事業でワークショップをしていただいたが、アニメにもつながる内容だったため、今回の企画を打診したところ講師も子供向けの企画を考えていたこともあり実現した。

(光) 6 月開催の「防災 GO! ～これであなたは防災マスター～」について

→ (大) 今回 2 回目の実施となる。最近震災が多く、小さい子供や弱い立場の方は不安な気持ちだろうと思い企画した。図書館で一緒に考えてみようというスタンスで図書館スタッフが講師となり、防災関連の紙芝居等の読み聞かせを行ったほか、ブックリストも配布した。区の区民防災課から避難所のパーテーションを借り、避難所の雰囲気も体験出来た。

(光) 「子育て家庭の読書支援のための図書館利用者向け託児サービス」について

→ (大) 保護者およびその子供に対しての読書活動を支援することを目的としている。子育て中の保護者を対象として、図書館に来館した際に子供 (生後 6 ヶ月以上の未就学児) を預かり、保護者がゆっくり本を選んだり、読んだりする時間を確保出来るようにした。子供が大きな声を出してしまったり、といったことを気にせず過ごしてもらうことも重要だと感じている。6 月に初めて実施したが、受付から 10 日で定員が埋まり、とても好評だった。託児サービスをお願いした事業者は、貫井図書館でも同様の事業で経験があるため、安心して実施することができた。

アンケートでは「もっと長く預けられたら良い」との意見もあったが、小さいお子さんが多く二時間以上は難しい。8 月に 2 回目を実施するが、既に予約がいっぱいとなっている。1 回目と重なっている方は 1 名程度なので、公平に利用されていると思う。